

一般質問通告書

令和4年2月14日

前
午 10時35分 受付
後
(受付順位 番)

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和4年2月14日

湖西市議會議長 馬場 衛 様



湖西市議會議員 吉田建二

質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主題
1	新型コロナウイルス感染症対策について

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主　　題
1	新型コロナウイルス感染症対策について
質　問　の　要　旨	
(質問しようとする背景や経緯)	
<p>新型コロナウイルス感染症対策は、国をはじめ全国の地方自治体が懸命に取り組んでいるが、先が見通せない状況下にある。</p> <p>当市における感染者数は、昨年の令和3年9月末時点では536人で、その後の感染者はなく、年末まで落ち着いた状態を保っていました。</p> <p>ところが令和4年の新年を迎えるとともに感染者が異常に急増し、1月だけで467人を数え1月末で1,003人となり、2月に入ると更に急増した状態が続いています。</p> <p>国においては全国的に感染者が急増していることから「コロナまん延防止等重点措置」を発令し、感染阻止対策を強化しており、静岡県も1月27日から適用されたことにより当市も対象区域に入っています。</p> <p>このような状況下にあることから、コロナ感染症対策に取り組んでいる行政や医療関係機関などの状況、及び市民の皆さんに理解して実践してほしい事項などについて、一般質問を通して改めて再認識をし、コロナ感染症対策の促進に繋げていきたい。</p>	
(質問の目的)	
コロナ感染症対策の促進を図りたい。	
(質問事項)	
<p>1. 仮に感染症に關係して多数の職員が欠けた場合でも、業務に支障を生じさせないための「業務継続計画（感染症対策版）」は策定されていますか。</p> <p>2. 計画にはどのような内容を盛り込んでいますか。その概要について説明いただきたい。</p> <p>3. 作成に至った発端と作成の経緯について、及び、職員はどの程度承知しているか説明をいただきたい。</p>	

4. 医療関係機関における取り組みの状況と、又、課題があれば説明いただきたい。

- ①ワクチン接種における状況
- ②PCR検査や診察等における状況
- ③入院療養や治療等における状況

5. 行政側の立場から、感染症を予防するために、一般の市民の方々に對して望むことはどのような事柄なのか。

市民はどのような行動をとればよいのか。又、どのようなことに注意し、理解して実践すればよいのか。

市民の方々に実践してほしいとする事項は何なのだろうかを改めて説明していただきたい。

6. 感染症対策本部会議では、どのような事項について協議されていますか。協議されている主な内容についてお尋ねします。

7. コロナに関する相談窓口を設置されていますが、相談件数や相談の主な内容など、どのような状況かお尋ねします。

8. コロナに関する市民の不安を軽減する一つの手法として、相談窓口を充実することだと考えます。又、こまめに広報を繰り返し行うことも効果的であると考えますがいかがですか。

一般質問通告書

令和4年 2月 14日

前
午10時 40分 受付

後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和4年 2月14日

湖西市議會議長 馬場 衛 様

湖西市議會議員 稲)浩幸 印
(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主題
1	湖西市の観光政策について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西市の観光政策について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯)	
<p>第2次湖西市観光基本計画が策定され1年が経過した。計画の進捗確認を行うと共に、湖西市の観光政策における動向、とりわけ新居弁天地域の再整備の位置付けとコロナ後の観光戦略について湖西市の考えを問う。</p>	
(質問の目的)	
<p>観光政策を湖西市の産業政策と位置づけ、観光消費額の増加はもとより雇用の開拓確保につなげることを目的とする。</p>	
(質問事項)	
<p>1. 第2次湖西市観光基本計画の進捗について 重点戦略、KGI、KPIの達成度と課題をどの様に認識しているのか伺う。</p>	
<p>2. 観光振興組織の再編について 進捗状況と、行政と観光協会・観光地域づくり法人との役割分担をどの様に考えているのか伺う。</p>	
<p>3. 新居弁天地域の再整備について サウンディング調査の結果と地元住民との意見交換から新居弁天公園の整備、管理運営について湖西市の考え方と、事業者の応募状況はどうか伺う。</p>	
<p>4. コロナ後の観光戦略について 観光戦略として人の回遊についてどの様に考えているのか、併せて浜松・浜名湖ツーリズムビューローとの連携はどの様に行っているのか伺う。</p>	
<p>5. 湖西市の観光拠点について 道の駅、海湖館、新居関所資料館の稼働状況について、課題をどの様に認識しているのか、総合的なコーディネートが必要と考えるが湖西市の考えを伺う。</p>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一般質問通告書

令和4年2月14日

(前) 午10時44分 受付
後



14

会員登録

登録番号

8

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和4年 2月 14日

湖西市議會議長 馬場 衛 様

湖西市議會議員 萩野 利明



(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主題
1	社会的検査の拡充と自宅療養者の支援を
2	運転免許証の自主返納促進に向けた取組と公共交通サービスの周知について伺う
3	特別障害者手当について、市民に周知を
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主　　題
1	社会的検査の拡充と自宅療養者の支援を
質　問　の　要　旨	
(質問しようとする背景や経緯)	
<p>コロナ感染が後を絶ちません。全国では1日10万人にも達しています。市内においても感染者が増え続けています。現在は家庭内で感染が多くなっており、お年寄りが感染する原因になっています。</p> <p>こうした感染を防ぐためにも社会的検査が必要です。幼稚園や保育園、学校関係、高齢者施設など広く検査を実施する必要があります。</p> <p>また、感染者や濃厚接触者に対する支援も大切です。こうした人たちに対する支援について伺いたい。</p>	
(質問の目的)	
市内での感染者を一人でも減らすために。	
(質問事項)	
<p>1. コロナは指定感染症となっており保健所が一手に管理しているが、それだけでは感染防止はできません。「湖西市でもやれることはやる」という立場でないと、住民の命は守れません。社会的検査を実施する考えはないか。</p>	
<p>2. ワクチン接種のほかに、コロナ感染防止のために市としてやっていふことは何か。</p>	
<p>3. 感染者や濃厚接触者に対する支援で、食料品等を配布しているが、現在までの配布実績は。</p>	
<p>4. 濃厚接触者に検査キットは配布されているのか。</p>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主　　題
2	運転免許証の自主返納促進に向けた取組と公共交通サービスの周知について伺う
質　問　の　要　旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>高齢者によるアクセルとブレーキの踏み間違いによる交通事故が後を絶ちません。しかし、車は高齢者にとっても欠かせない移動手段です。こうした人たちにとって免許証の返納は簡単ではありません。やはり返納を促進するためには、公共交通の整備が必要で、いつでも自由に移動できる公共交通の整備が欠かせません。</p>	
<p>(質問の目的)</p> <p>高齢者による悲惨な事故を少しでも減らすために。</p>	
<p>(質問事項)</p> <p>1. 市としての、高齢者の運転免許証の自主返納促進に向けた取り組みは。</p> <p>2. 自主返納後の交通手段の支援は。</p>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主　　題
3	特別障害者手当について、市民に周知を
質　問　の　要　旨	
(質問しようとする背景や経緯)	
<p>特別障害者手当は、著しく重い障がいがあり日常生活に常時特別な介護が必要な20歳以上の人々に月およそ2万7,000円が支給される国の制度で、特別な介護を必要とする在宅の障がい者に対して支給されるとなっている。障害者手帳がなくても要介護4・5でも手当が受けられる可能性があることを市はもっと周知すべきではないか。</p>	
(質問の目的)	
<p>特別障害者手当は障害者手帳がなくても受給できること、要介護4・5でも受給できることを知らない市民がいる。</p>	
(質問事項)	
<p>1. 現在、特別障害者手当を受給をしている市民は何人いるのか。</p> <p>2. 民生児童委員などにも徹底して、対象となるための要件を周知する必要があるのではないか。市としても広く周知する考えは。</p>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一般質問通告書

令和 4 年 2 月 14 日

午前 10 時 59 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 4 年 2 月 14 日



湖西市議會議長 馬場 衛 様

湖西市議會議員 瀧本 幸夫



(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主題
1	白須賀地区海岸線の駐車場、トイレ及び道路の整備について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主　　題
1	白須賀地区海岸線の駐車場、トイレ及び道路の整備について
質　問　の　要　旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>新居から続く遠州灘の白須賀海岸は、太平洋の広大な眺めの中、マリーンスポーツや釣りを楽しんだりウォーキングをしたり、自然に包まれてやすらぎを求める人々で賑わう湖西市の大切な場所です。そこで、未来に繋がる自然環境の保全と、自然を愛し美しい風景を楽しむ人々にとつてかけがえのない遊び場や駐車場等の管理運営を地元が担っていく事で、地域の活性化を図り地元住民が執行機関である行政のサポートをしていくことが重要であると考えます。</p> <p>現在は、地元自治会や地元サーファーによるボランティア活動で海岸清掃・浜道整備・草刈り・駐車場整備を行なっております。これらの管理運営を未来に向けて持続していく為に地元若手によるNPO法人の立ち上げを実施し、次世代に繋げ素晴らしい大自然を守っていきたいと思っております。</p>	

(質問の目的)

白須賀海岸を快適な場所として維持するために必要な駐車場、トイレ及び道路の整備と、地元住民と行政との協力体制の構築など、今後の管理運営をどのように継続していくか伺う。

(質問事項)

1. 農業従事者の農道への迷惑駐車を解消するため、地元の有志が新たな駐車場の設置を計画しているが、その設置に対して、市からどのような協力が得られるか伺う。
2. 白須賀海岸の西側駐車場のトイレの管理状況について伺う。また、東側駐車場へトイレを新設する考えはあるか伺う。
3. 地元の有志による駐車場が設置された場合に、市としてトイレを設置し、管理する考えはあるか伺う。
4. 「道の駅潮見坂」より西側の浜道については、未舗装であったり、道幅が狭くすれ違いができる場所もあるが、今後の整備について市の方針を伺う。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一般質問通告書

令和4年 2月 14日

前
午11時 40分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和4年 2月 14日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 佐原佳美



(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主 題
1	新設「子ども家庭総合支援拠点」の体制及び子育て支援センターの機能について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主　　題
1	新設「子ども家庭総合支援拠点」の体制及び子育て支援センターの機能について
質　問　の　要　旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>私は、発達に課題があり特別な支援を必要とする幼児の親御さん達から、幼稚園等の入園や小学校入学前の相談で関係する課をたらい回しにされず、専門的な相談をワンストップで受けられる市の相談窓口が欲しいと訴えられ、令和元年12月定例会の一般質問で、市民に寄り添う職員の資質向上と子どもの成長に合わせた途切れることのない支援システムや拠点となる部署の早期創設が必要と提案しました。</p> <p>それに対し、市長より検討中の機構改革の中で<u>令和3年度開始を目途に「子育て相談窓口の一元化」（ワンストップサービス）を図りたい旨</u>の答弁がありました。</p> <p>そして、昨年3月定例会一般質問で、4月より実施予定の「子育て相談窓口一元化」の運用を質問したところ、健康福祉部長より令和3年4月より機構改革で「子育て支援課」を「子ども家庭課」と名称変更し、「子ども家庭相談係」を新設して児童虐待等に対応する要保護児童対策地域協議会や県の児童相談所等との連携強化を図る体制も整備し、「ワンストップサービスに向けた第一歩として（教育委員会の）幼児教育課を子ども家庭課の隣に配置してワンフロアで就学前までの対応をし、令和4年度には子ども・家庭・妊産婦等を対象とした実情の把握、相談、調査、訪問等によって適正な支援につなげるための『子ども家庭総合支援拠点』を設置して子ども家庭課が所管する予定」との答弁でした。</p> <p>また、令和元年12月一般質問で発達に課題があり特別な支援を必要とする子どもへの支援には「専門職の配置」が必要と提案したことについても「<u>令和4年度予定の『子ども家庭総合支援拠点』設置に向けて有効に機能させるための専門職員の配置を含めた体制整備の検討を進めていきたい</u>」との答弁でした。</p> <p>私の提案から足掛け3年、新年度から実質開始される『子ども家庭総合支援拠点』を中心とした湖西市の子育てワンストップサービス、切れ目のない子育て支援体制整備の確認をしたいと思います。</p>	

(質問の目的)

全ての子どもたちが健やかに成長できる子どもと家庭への支援体制を構築し、湖西市で子育てしたいと転入者が増えるまちにしたい。

(質問事項)

1. 発達に課題があり支援が必要な子どもへの相談は、昨年3月の一般質問の答弁では、新設の「子ども家庭相談係」か従来の「地域福祉課の障害係」か担当を調整していきたいとのことでしたが、1年近いプレオープンの間に調整やマニュアルはできましたか。また、実施事例はありましたか。

2. 幼児教育課との連携マニュアル等作成され、実施事例はありましたか。

3. 『子ども家庭総合支援拠点』は、妊産婦も対象と昨年3月定例会一般質問の答弁で紹介がありました。私の昨年9月定例会一般質問の「産前産後ケア事業の拡充について」の答弁で助産師による訪問型産後ケアも検討するとの事でしたが、新年度からの産前産後ケア事業の拡充は如何ですか。

4. 昨年6月定例会一般質問で、私は「ヤングケアラーの支援について」子どものプラットホームである学校で教職員がいち早く家族の介護を担う子どもたち：ヤングケアラーを発見するべく研修をして、支援に結び付けて欲しいと実態調査等を提案しましたが、来年度設置の『子ども家庭総合支援拠点』で対応するとの答弁でした。その後、学校との連携などについて子ども家庭課と対応マニュアルの検討や調査などされましたか。

また、連携支援したケースは、何件ありどの様に関係機関につなぎましたか。

5. 発達に課題がある子どもの保護者は、市役所内の関係部署間で、子どもの情報共有（ワンストップ化）を希望していると令和元年の一般質問でシステム改修などを提案しましたが、昨年の一般質問でも慎重に対応したいとの答弁でした。最近、相談に乗った方からは、市外の療育センターや保育施設、医療機関との情報共有もして、市はその子どもや家

庭に寄り添って欲しいと言われました。実質のワンストップサービスを実施しては如何でしょうか。

6. 療育支援が必要なお子さんの保護者から、市内に1日コースの療育センターが無く浜松市や豊橋市まで通っている。市内に療育センター設置を希望する声が多いが、子育て支援センターの運営を療育センターや子育て支援ひろばを運営している民間の専門機関に委託して機能強化するには如何でしょうか。

7. 浜松市には、妊娠期から3歳未満児を連れて参加し、子育ての仲間づくりの場、助産師などによる相談日、イベントを定期的に行う「子育て支援ひろば」が市内25か所にあり、機能として発達支援、外国人支援、多世代支援、長期休暇支援等が加えられているものもあります。当市も巡回相談等はありますが、多世代との居場所づくりと合わせて「子育て支援ひろば」事業を委託で開始しては如何でしょうか。

8. 当市には、双子、三つ子等の家庭の多胎児サークルが無いが、立ち上げようと準備している保護者がみえる。多胎児サークルへの支援と、多胎児用の育児助言や成長の記録、日常のミルクの量やオムツ交換の記録などが2人、3人一緒に記入できる「ふたご手帖」と「記録ノート」を誕生祝いに贈呈しては如何でしょうか。

9. 発達支援が必要な子どもの保護者や他からも、困りごとを「誰に聞けば良いか、どこに相談に行ったら良いか分からぬ。」との声をよく聞きます。「浜松市子育て情報サイト『ぴっぴ』」のようなWebでのワンストップ情報サイトの設置や、『子ども家庭総合支援拠点』を中心とした子育て相談や事業をWebやリーフレットにして周知しては如何でしょうか。

10. 子育て支援センターの「のびのび預かり保育」は2歳～就学前の子どもを予約して預かってもらうサービスですが、母親の受診時等に1歳から預かって欲しいとの希望がありますが如何でしょうか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること